

10.13

火曜日
10:30~

参加無料



元デジタル庁統括官

村上敬亮

MURAKAMI KEISUKE



長門湯本温泉エリアマネージャー

木村隼斗

KIMURA YOSHITO



『新・地方創生論』と
長門湯本温泉の
実践

APイノゲート大阪 Room H (11F)

2026年10月13日(火)10:30~12:00

■ 開催概要 OVERVIEW

日 時	2026 年 10 月 13 日 (火) 10:30~12:00
会 場	AP イノゲート大阪 Room H (11F) 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-2-123 イノゲート大阪 11F
アクセス	JR「大阪駅」西口改札 直結・徒歩 1 分 阪神「大阪梅田」5 分／四つ橋線「西梅田」5 分
参加費	無料 (どなたでもご参加いただけます)
定 員	30 名

お申込み



申込締切

2026 年 10 月 12 日 17 時

定 員

30 名 (予約優先)

※定員に達し次第、締め切ります

上記の二次元バーコードより受付
フォームにて申し込みをお願いいたし
ます。

■ 当日のプログラム SCHEDULE

10:30	趣旨説明 ほか (5 分)
10:35	トークセッション (75 分) ①『新・地方創生論』(45 分) / 村上 敬亮 ②長門湯本温泉の「温泉街リノベーション」の取組 (15 分) / 木村 隼斗 ③対談 (15 分) / 村上 敬亮・木村 隼斗・JR 西日本
11:50	長門湯本 モニターツアー・研修プログラムのご紹介 (10 分)

対談で扱うテーマ

- 地方創生は、地域の課題ではなく日本としての課題であること
- 都市部の企業人材が地域から何を学べるか、何が得られるか

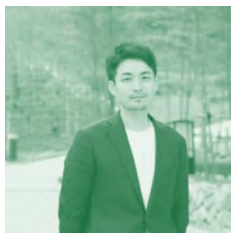
■ 登壇者 SPEAKERS



元デジタル庁統括官

村上 敬亮 MURAKAMI KEISUKE

東京大学公共政策大学院特任教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授。1967 年東京都生まれ。1990 年通商産業省（現・経済産業省）入省。IT 政策に携わった後、クールジャパン戦略の立ち上げ、温暖化国際交渉、再エネ買取制度創設等に従事。2014 年より内閣官房・内閣府で、地方創生や国家戦略特区を担当。2020 年 7 月中小企業庁経営支援部長。2021 年 9 月デジタル庁統括官（国民向けサービス G 担当）。2025 年 7 月に退官し、同年 11 月より現職。



長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー

木村 隼斗 KIMURA YOSHITO

経済産業省に入省し、原子力被災者支援、自動車産業戦略などを担当。2015 年から 3 年間、地方創生人材支援制度により長門市役所に勤務、経済観光部長を務める。霞が関と人口約 3 万人の市役所、双方での 13 年半の公務員経験を経て退職。2020 年 4 月、地域の未来にコミットする「長門湯本温泉まち株式会社」のエリアマネージャーに着任。公民連携・地方創生を通じて、地域が前向きなチャレンジの場として次世代へとつながっていくよう、日々取り組んでいる。

■ 登壇者の著書



新・地方創生論

村上敬亮 著／日経 BP
2026 年 9 月 7 日発行
四六判 216 頁
2,420 円（税込）
ISBN 978-4-296-00301-3



温泉街リノベーション

木村隼斗・のかたあきこ 著
旅行読売出版社
2025 年 12 月 3 日発行
2,200 円（税込）
ISBN 978-4-89752-350-7

■ 長門湯本温泉とは



山口県長門市の山あいにある県内最古の温泉街。2016 年から行政・事業者・地域住民が力を合わせ、再生に取り組んできた。河川空間の活用、民設民営による共同浴場の建て替え、事業者の誘致を重ね、歩いて楽しむ「オソト天国」へと姿を変えた。

